



6月です！雨の季節になりました。最近、とつぜんに大雨がふることはありませんか？ポーポキは、安心できるように、避難袋を確認しました。好きなお菓子を入れました。あなたは確認ができていますか？

Popoki's Hot News!



Coming soon!

灘チャレンジ 2019

2019年6月30日 @ 都賀川公園

楽しい一日を一緒にすごしませんか？

ポーポキはブース、ゲーム、展示をします。

大船渡からおはなしころりんの

江刺由紀子さんも

参加します。

お待ちしております！

大雨の場合は中止になることがあるので、

HPをチェックしてから来てね！

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちの Joosje にゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「夕暮れに、木々の枝の間から出てくる黄金の太陽の光を見ながら自然の中を歩くときに平和を感じる。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？

ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

ポーポキ@チェンマイ



YMCA Green Ambassadors & Popoki Training Workshop
April 29, 2019
At Environment and Energy Learning Center
Sao Hin YMCA, Chiang Mai Province



Time	Activities
08.30 - 09.00	- Registration
09.00 - 09.30	- Opening Session & Overview of Workshop Training
09.30 - 10.00	- Group Recreation Activity
10.00 - 10.30	- Coffee Break
10.30 - 11.15	- Learn about the current climate situation; causes, consequences, risk, effects and YMCA green activities towards low carbon society
11.15 - 12.00	- Touring 8 station of exhibition at the Environment and Energy Learning Center • Learn about impact of climate change, energy conservation, how to reduce carbon emission, alternative energy, garbage management and alternative tourism.
12.00 - 13.00	- Lunch
13.30 - 16.30	- Popoki Workshop: Peace & Disaster and Being/Feeling Safe



Theme: What color is peace?
 What color is safety?
 Think about peace and safety with the cat, Popoki

- Ice breaking exercises
- Reading from Popoki's book
- Talking and discussing about what is peace
- How to live in peace in present situation
- Environment & disaster
- Making stories and share them...How does that sound?

By: Prof. Ronni Alexander
 Kobe University of Japan

- Closing session



This program has received JSPS(2019) Challenging Research Support (Project number 18K18647)

Contact
 Tel: Pang 065-70262524 Nid 080-6735339
 Email: YFCMTH@gmail.com

ろにゃん

4月末にポーポキはタイのチェンマイにいる友人に会い、サオヒンYMCAでワークショップをしました。サオヒンYMCAは環境問題やサステナビリティを取り上げており、素晴らしいプログラムを展開しています。それを見て、本当に感銘を受けました。ポーポキは災害、環境、平和についてのワークショップをしました。参加したユースは一生懸命でした。共通の言語は英語でしたが、身体や想像力を使って、安全や安心について表現したり共有したりしました。最後に、泣いているポーポキにどのようにすれば安心できるかについてお話をつくって、共有しました。

ポーポキは、旧友との再会も新しい友だちとの出会いもとてもうれしかった！





チェンマイのワークショップのあと、ポーポキとろにゃんはチェンライに行き、チェンライ YMCA のスタッフに大変お世話になりました。ろにゃんは日本に帰りましたが、ポーポキは本の中から YMCA に残り、チェンライでも友だちをたくさんつくっています！



ワークショップのあと、参加者が感想を送ってくれました。
読むことができて、うれしかったです。

ポーポキのワークショップに対する参加者の感想とコメント

このプログラムを通して、色々なことを学ぶことができました。私は平和について真面目に考えたことも平和の色や音を想像したこともありません。活動を通じて、先生方が私たちに考えたり、想像したりすることを促してくれました。とても印象深かったし、平和の重要性に気付きました。さらに、平和には、例えば自然環境、安全、社会など、複数の側面があることを学びました。私はより良い世界をつくるためにピースメーカーになります。最後にサオヒン YMCA にこの役に立つプログラムを企画してくれたことに感謝しています。このプロジェクトに参加できたのは誇りです。なぜなら、今、私たちの世界に平和に暮らすことができない人々はたくさんいるからです。彼らが問題を解決できるように、私たちは手伝わなければなりません。そうすればいつかの日には、世界中のすべての人は、しあわせで平和に暮らせるようになります。

クンサットリー、セーンジャン

私たちは平和について学びました。その平和は、人々がつくることができます。暴力なしに一緒に暮らせば、みんなが一つになり、態度がよくなります。そしてもう一つ学んだことは、それぞれの国には難しい問題があります。私たちは、お互いの違いを認め合って、世界中の問題の平和的解決のために、一緒に自らできる活動をしなければなりません。

カモンナン、チッタヌクンキット

今日のプログラムに参加できてとてもうれしかったです。新しいことをたくさん学ぶことができました。サオヒン YMCA にこの機会を与えられたことに感謝します。とても楽しかったし、新しい友だちもできました。みんながとても親切でフレンドリーです。

ポーポキのワークショップでは平和と世界の問題について学びました。それを受けて、世界をより良いところにするために、私たちは何ができるかを考えて、行動に移すことをしなければならぬと思いました。すべての人はお互いを助けし、愛し、そして優しく対応すれば良いと思います。その前には、世界を変える前には自分を変えなければならぬ、ということを知っておく必要があります。毎日をしあわせにし、ほかの人や世界に対して優しく接することを忘れないように。

チャリタ、ノーゲーオ

ポーポキのワークショップは、平和や災害について学んだり友だちと意見交換したりする、とても良い機会でした。正直にいうと、このように安全や平和について考えたことが今までありませんでした。なぜなら、私には災害が起こらないとっていて、私の生活から遠く離れている問題だと思ったからです。

このワークショップでは、自分の人生を平和や安全安心の観点からふりかえり、それらの色や音を想像しました。その後、一人で考えてからグループに共有し、全体でも共有したと

ころで解答を見つけました。一人ひとりの平和の音は違いますが、一緒にするととても美しい平和な音になると学びました。

このワークショップで各グループはポーポキの話をつくり、みんなに共有しました。そこでやっと、平和の本当の意味を見つけました。

最後にサオヒン YMCA とロニー・アレキサンダー先生に感謝したいです。有意義なプログラムに感謝しています。この参加できたことは誇りに思っています。プログラムで獲得した知識を人生の中で活かし、周りの人に共有し、より良い世界をつくり、世界の人が平和やしあわせになるように努力することを約束します。

スパウイット、スワンジャン

ポーポキのトレーニングによって、環境以外のこともたくさん学びました。ポーポキは、人間以外の生物のいのちについて教えてくれました。それらは私たちに助けをもとめるためにコミュニケーションができません。人間は能力、信仰、そして希望を持っているから可能な限りのことをします。

時々、暴力や苦しみ、不平等のように、人間の行動はほかの生物に影響を与えます。これは「非平和」と呼びます。ポーポキはただ単に助けられたねただけではありません。ポーポキは、人間と人間、人間と動物、人間と環境を結ぶ関係であり、リンクであります。それによって、私たちはお互いを理解し、愛することができるようになります。

いろいろなアクティビティを通して考えたりした結果、アイデアは無限にあると気づきました。平和の色や音はわからないのかもしれませんが、自らの行動によって平和をつくることを知っています。頼まれなくても人を助けることができます。どの問題の影響もより軽くできます。目標達成は一人でできるのではなく、みんなと一緒にするから達成できます。今まで一番学んだことをなかで最も大切なことを教えてくれて、ありがとうございます。

ガンナパット、ニティットスッティブタ

午後には、ポーポキの平和についてのワークショップを受けました。どのようにすればピースメーカーになれるか？ポーポキを紛争解決として使うにはどうすれば良いか？平和について話すことをいろいろな形で練習しました。ことばをつかって、グループで話し合っってポーポキについて自分たちのお話をつくりました。話さなくても、非平和を表す彫刻をつくって、ほかの人に平和を表す彫刻に変えてもらったりできました。

気象変動の影響がどんどん大きくなっていることも学びました。私たちはこの問題をどうすれば解決できるかを学ぶ必要があります。このワークショップでは、ほかの人と一緒に問題解決したり知識を共有したりすることを学ぶことができました。私たちにとって、とても素晴らしい機会でした。そして、とても楽しかったです。

タナパ、ウイトランティラワット



らにゃん

今年の二月にポーポキは友だちと岩手県大槌町と大船渡市という二つの町に行きました。寒かったけれど、現地の人たちと話したり布に絵を描いたり絵本を読んだりして、素晴らしい四日間をすごしました。

以前の「ポーポキ通信」で最初の三日間の活動を紹介したので、今回は最後の日について書きたいと思います。私にとって、この日は“奇跡の日”でした。

この日は、特定非営利活動法人 おはなしころりんと現地の人たちに会い、新しい友だちを作るためにみんなが朝早く起きて大船渡市に向かいました。



最初、みんなが疲れたような顔で朝、電車に乗りました。でもすぐに一回目の奇跡が起きました。電車の窓から見る美しい景色に驚いたり、一緒に甘いものを食べたりしたら、みんなの表情がすぐに笑顔に変わり、幸せになりました。

ポーポキと友だちはまだ訪れたことがなかった大船渡市に行くことを楽しみにしていたけれど、同時にちょっと緊張していました。けれど、大船渡市防災観光交流センターに着いたとき、暖かく歓迎されたので、すぐに幸せになりました。

新しい友だちと一緒にポーポキの絵本を読んだり紙芝居をしたり布に絵を描いたりして、この日を過ごしました。外はすごく寒いと思いましたが、みんなのハートは暖かくて、私たちの心は喜びがあふれるぐらいになりました。夕方はおはなしころりんのスタッフと交流し、ポーポキの活動や現地の活動、大船渡市とその周辺都市での被災体験について話しあいました。

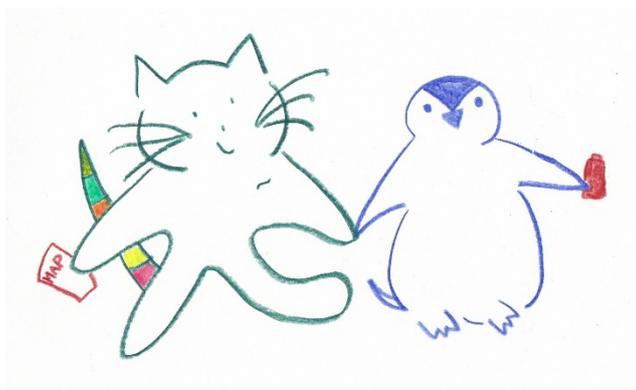
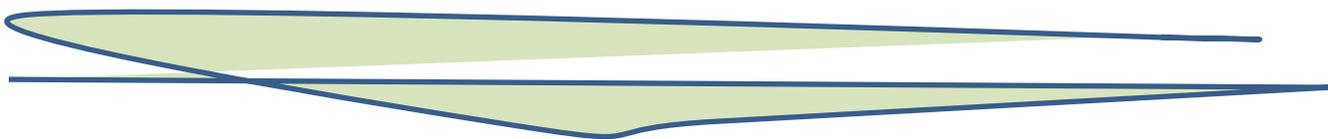


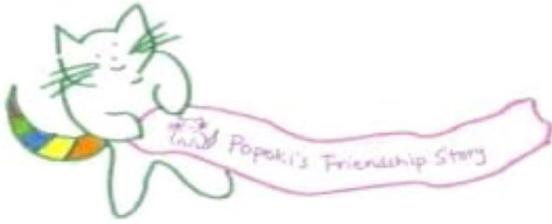
夜は東京行きのバスを待っている時に、私にとって一番好きな奇跡が起きました。プログラムが終わり、休憩室としてついていた部屋に戻るとき、さとにゃんは「あんこが食べたいなー」と言いました。そしてちょうどその時、江刺さんは部屋に入って、みんなにすごく美味しいどら焼きを持ってきました。私は「これが本当に奇跡だ」と思いました。 

その後バス停に向かっていたときはおとぎ話のような奇跡が起きました。雪が降りはじめました！私たちが住む神戸市で雪はあまり降らないので、雪は珍しいものです。この夜は、すべてのものは白い雪のブランケットで覆われてきました。通りの街燈の明かりを通して、私たちは地面に降る美しい雪を楽しんだ。



私たちは、出会った人々や町からインスピレーションを得てバスに乗り、旅行中に見た雪と美しい海の夢を見ながら帰りました。





Popoki's Interview

聞き手 さとにゃん

日本からタイに移り住んでいるミーニャンに防災の準備について聞きました。

Q1.海外に住んでいて特別にしている災害対策はありますか？

A1.特はない。ニュースは見るようにしているけれど、海外だからと特別に何かをしているわけではない。

Q2.では、日本では何かしていましたか？

A2.寝るときに枕元に靴と持って出る物を入れた袋を用意していた。

Q3.それは、何か今までの経験からですか？

A3.私は、何も災害にあったことがないけれど、おばあちゃんがそのように言ってしていたから。（ミーニャンのおばあちゃんなら戦争を知っている人という事になる）

子どもが小さいときには、逃げるときに子どもをおんぶできるようにおんぶ紐と食べるものや水を袋に入れて、靴と一緒に並べておいてから寝ていたの。食べ物は乾パン、それ以外は下着や着るもなど。大きくなったら、みんな一人ずつのリュックを作って同じようにした。でも、子どもたちはそんなこと今はしていないみたいね。私たちも、ここ（海外）ではやってないなあ。

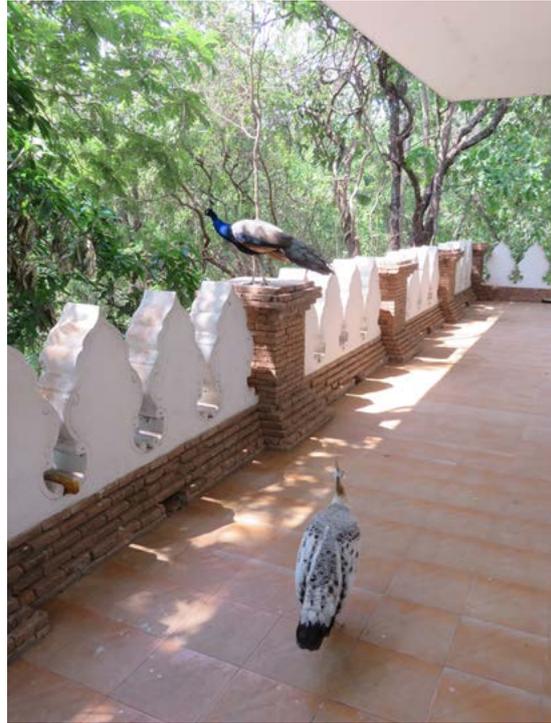
でも、具体的に災害にとか考えていたのではなくて、何かがあったときにと思っていた。今でも、災害が特別なのではなくて、何が起こっても良いように色々な事に気をつけておくことが大切なんだと思う。

人生の達人の回答でした。





<チェンマイYMCAに展示されていた持ち出し袋>



<タイのお寺のクジャクたち>



<おもてなしのお花>

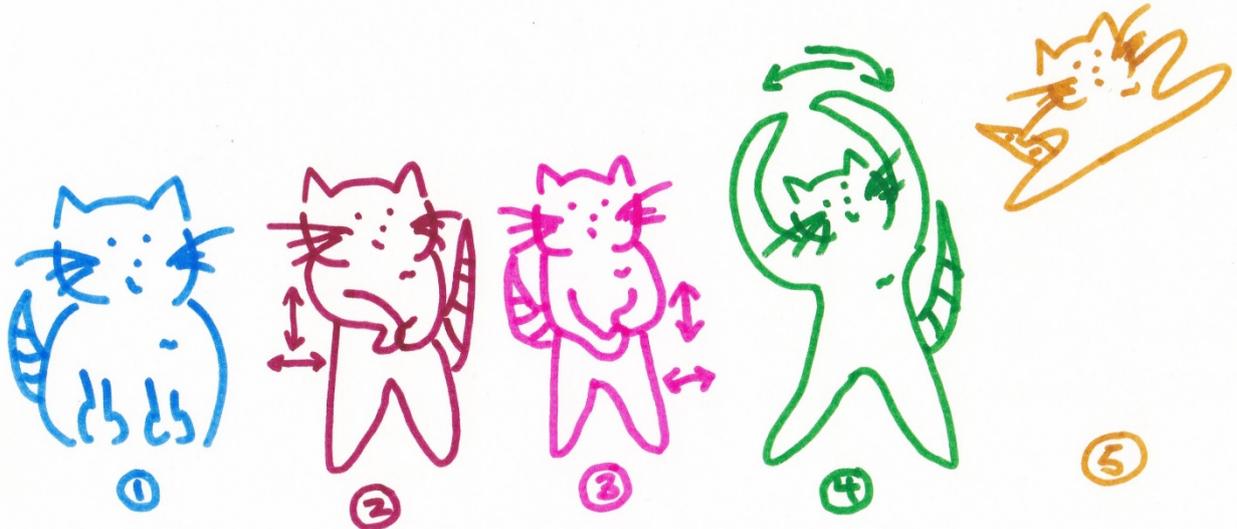


<どこにでもある日常の風景>

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 133

今月のテーマは、楽に傘を持ち続けるために手首や腕をストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、右腕を伸ばし、指を下にぶら下げます。左手でやさしく指を体のほうへ引っ張ります。反対の手もしてみてくださいね。伸ばしている腕を上下や左右に動かして、いろいろな角度をチェックしてみてくださいね。違いはありますか？
 3. 次は、同じようにしますが、今度は指を上にしてからやさしく引っ張ります。いろいろな角度をしてみてくださいね。
 4. 最後は両手を頭の上に伸ばしてから、体をつかって、大きな円を描きます。反対周りもしてね。もちろん、しっぽも。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会： 6月17日@灘薬剤師会 19:00

- 6.30 灘チャレンジ！ 10:00~16:00 都賀川公園 スタッフ集合:9:00@ポーポキブース。
次ページにもご参照！ <https://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge>
- 7.6 10:00~ ポーポキ@子どもの里！
- 7.30 10:00~ ポーポキ読み聞かせ@はとぼっぽ保育所！
- 8.2 又は5 ポーポキ@神戸大学男女共同参画推進室主催のサマープログラム
- 8.5 ポーポキワークショップ@国際理解教育・国際共催セミナー (JICA 関西)
- 8.6 ポーポキ@MERCY Malaysia Conference！クアラルンプール
- 8.9 ポーポキの核問題を話し合う国際スカイプ！（予定）

- 8.18-30 ポーポキ@ユネスコチェア・サマープログラム インドネシア・ガジャマダ大学
 - 9.28 福島第一原発事故による避難問題を考えるセミナー（予定）
 - 10.12 平和と健康ワークショップ 兵庫医療大学 14:00~16:00（さとにゃん）
- NADA CHALLENGE! *雨が降っても、ポーポキの仲間はたぶんいったん9:00に集合します。わからない場合はろにゃんにご連絡ください。

なだ 難チャレンジ 2019 祭

神戸大学の学生が中心になって
 地域のみなさんと作るお祭り、難チャレンジ。
 阪神淡路大震災の復興祭としてはじまり、
 今年で25回目の開催です。

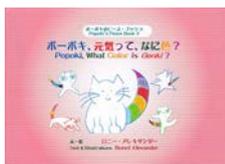
6/30(日) 10:00~16:00
 場所: 都賀川公園 @togagawa park
 少雨決行 荒天中止

minigames booths, stage new project exhibition

子ども向けミニゲームにたくさんの模擬店、楽しいステージに
 会場にいる皆さんで行う新企画、灘区民ホールで行われる展示。
 これは楽しむしかない...! 6/29(土)には子どもたちとパレードをします!

〒657-8501
 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1神戸大学学務部学生支援課気付
 神戸大学学生震災救援隊内難チャレンジ実行委員会
 電話: 078-881-4755
 E-mail: nadachallenge@yahoo.co.jp
 HP: http://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge
 Twitter: @Ncha 2019

詳しくはこちらのQRコードからアクセス!



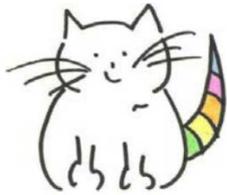
Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー :

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしまど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8 10





私にとってポーポキ

Tetsunyan

ご無沙汰しております。Tetsunyan です。

私は最近転職をいたしまして、今は人材紹介会社のマネージャーとして働いています。人材紹介会社の中でも私がいる事業部は、外国籍の方（今はまだ、日本語がビジネスクラス以上、かつ技術・人文知識・国際業務の在留資格を取得できる見込みのある方、もしくは既に持っている方にほとんど絞られています）を日本の企業に紹介することに特化しています。この事業部は、日本企業の採用価値観をかえることを MISSION の一つにしている、ここにポーポキを含め私が大事にしていることにもつながっています。

採用担当の人と話してもやはりまだ、語学能力とは別の壁を感じる時はありますし、採用担当の人は理解していても、その先の社内の人間や取引先などを考慮して、難しくなる場合もまだまだあります。もちろん会社は営利組織ですし、私も今はビジネスマンですので利益とのつながりを考えないといけません。ただその会社に合う優秀な人で、その人にとってもいい会社なのであれば、日本人であるというだけで無理くり見つけてきた人より良いとも言えますし、採用ができなくて困っている状態よりもよっぽど良いと思えます。

私個人としても、日本が好きなので（私が今日本にすんでいて、今後も住み続ける可能性が高いからかもしれない＜笑＞）日本の進歩に貢献できる優秀な方が多い方が嬉しいですし、いろいろなバックグラウンドを持った方が周りにいる方が刺激的で楽しいとおもっています。

今の超高齢社会の日本では、国外からの労働者も必要ですし、その方達の頑張りや、今ある偏見は放っておいても矮小化すると思います。ただ、ビジネス的にも個人的にも真剣に取り組めるこの仕事で、採用価値観をより早くかえ、ポーポキの一員としてもほんのちょっぴり世の中に貢献していければと思います。

将来的に外国籍の方と日本国籍の方を分けないレベルになるまで持っていくようがんばればとも考えています。その時には私の事業部はなくなってしまうかもしれませんが＜笑＞。





東京で働いています。この中のどこかです<笑>。



ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!